

# (有)福島造船鉄工所の事業基盤強化計画(抜粋)

## 企業概要

- 1868年(明治元年)創業。山陰地方で唯一、本格的な鋼船建造を手掛ける造船所であり、内航貨物船、旅客船、艦艇・官公庁船、漁船等を幅広く手掛けている。
- また、日本最大級の全天候型乾ドックを有し、10総トン未満の各種船舶から、最大4,500総トンの大型貨物船まで建造可能。
- 2009年には日本初となる環境負荷低減を図った電気推進船(セメント専用船「安鷹」)を建造する等、新たな技術を活用した先進的な船舶の開発・建造にも取り組んでいる。



## 計画の概要

- フィン付ラダーバルブ等の最新の省エネ設備を搭載し、CFDによる船体形状最適化を図った新たな省エネ型LPGタンカーを開発・建造する。
- 船体ブロック製造を内製化することにより、約2~3ヶ月の工期を短縮し、低コスト化・高操業化を図る。
- 具体的には、1.28億円を投資し、船体ブロック置き場の整備・確保、製造した船体ブロックを運搬するための牽引台車、NCプラズマ切断機、3D-CAD設計ツール等を導入する。

<計画実施期間> 2026年7月~2031年3月

<実施場所> (有)福島造船鉄工所 森山工場(島根県松江市)



セメント専用船「安鷹」  
(スーパーエコシップ)